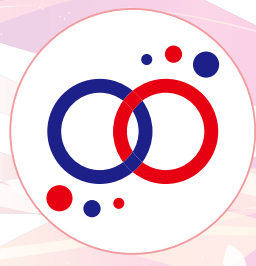


倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
 〒712-8057 倉敷市水島東千鳥町1-60
 TEL 086-444-3212
 老人保健施設 **老健あかね**
 TEL 086-446-6541



コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

病院の実力

※岡山編 161

歩行や着替え動作練習

回復期リハビリ

今回は、「回復期リハビリ」を取り上げる。脳卒中や骨折などの治療後、再び自宅に戻すために訓練に取り組む。

国の基準を満たした専門病棟「回復期リハビリテーション病棟」には、手足のまひ、歩行困難などの後遺症を抱える患者が入院し、集中的なリハビリが行われる。一覧表には、専門病棟の病床数と、今年6月に患者1人が1日に受けたリハビリの平均単位数(1単位は20分)を示している。

入院期間は、脳卒中などが150〜180日以内、骨折など患者は90日以内と定められている。多くの患者は、重症度に応じて折々の患者は90日以内と定められている。多くの患者は、重症度に応じて折々の患者は90日以内と定められている。多くの患者は、重症度に応じて折々の患者は90日以内と定められている。

回復期リハビリ

は20分を載せた。リハビリでは、歩行や着替え、トイレ、手指の細かい動作の練習などを行う。言葉を話したり、食べ物をのみ込んだりする訓練もある。復職支援や車の運転練習など、社会活動を取り戻すための取り組みも含まれる。

リハビリの実施単位数が多ければ、体の機能回復が進むほか、リハビリを支える理学療法士や作業療法士などのスタッフが充実している施設といえる。保険診療では、1日9単位(3時間)までの実施が認められている。

脳卒中や骨折などの急性期治療の直後から実施する「回復期リハビリ」だ。院(倉敷市水島東千鳥町)は、倉敷医療生活協同組合「コープリハビリテーション病院」(倉敷市水島東千鳥町)と連携している。

患者一人ひとりのリハビリについて話し合う院長(右)ら(倉敷市のコープリハビリテーション病院で)

院長 鍛本真一郎 62

住み慣れた環境で行う

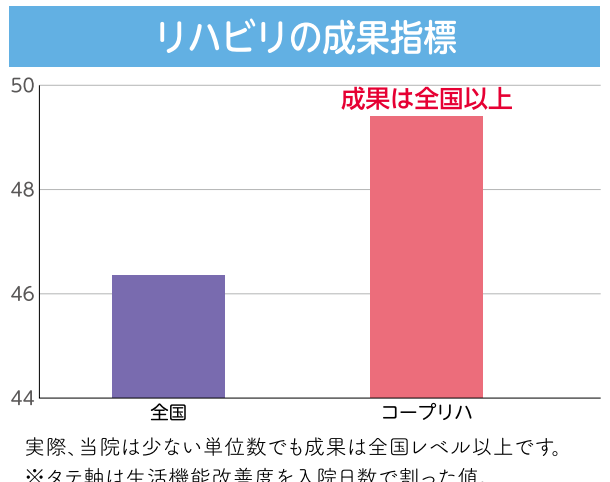
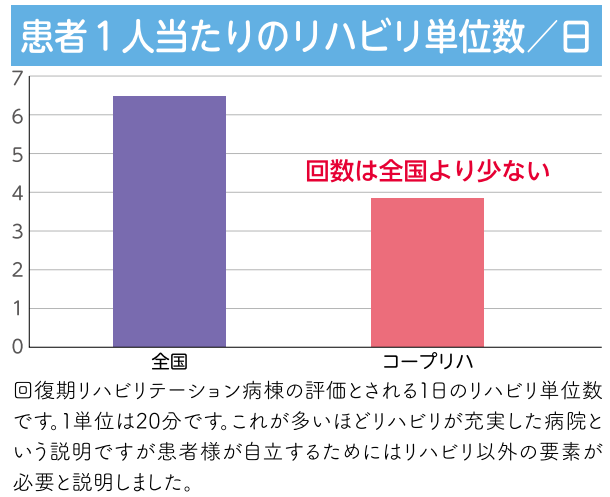
コープリハビリテーション病院 倉敷市

10月24日朝刊 地方版に掲載されました

医療機関名	回復期リハビリ病床数	1単位は20分	骨折などの患者1人1日あたりの単位数	脳卒中などの患者1人1日あたりの単位数
鳥取県				
鳥取生協	94	7.5	6	
国・鳥取医療セ	50	3.8	2.8	
錦海リハ	48	8.8	5.6	
岡山県				
しげい	96	6.9	5.5	
川崎大総合医療セ	54	5.1	3.5	
コープリハ	46	3.8	3.1	
児島中央	43	4.7	4.1	
竜操整形外科	37	4.3	3.4	
広島県				
福山リハ	160	7.9	7.4	
公立みつぎ総合	72	8.3	7.3	
大田記念	50	8.5	8.8	
井野口	49	8.6	8.8	
ヒロシマ平松	41	5.9	4.3	
浜脇整形外科	40	8	4.2	
マッターホルンリハ	37	8.7	8.6	
山口県				
下関リハ	165	8.1	5.1	
光風園	60	8.5	4.8	
昭和	54	8.8	4.1	

「リハ」はリハビリテーション、「国」は国立病院機構、「セ」はセンター。位数は小数点第2位以下を四捨五入。単島根県の医療機関からは回答がなかった。

全国の調査結果は20日の「安心」の設計画に掲載しました。



記事の最後に「やがて(診療報酬)単位数で成果をはかる時代は終わるでしょう」と書きました。医療費はリハビリ回数より、どれだけ患者様が満足したかで支払われるべきです。

当院はプロセス・アプローチをさらに改良して質の高い医療をめざします。

他に歯科との共同作業も当院の特徴です。歯科医師と歯科衛生士とが直接、私達に治療と口腔ケアの説明をしてく

この仕組みで一番大変なのは看護師(リハビリナース)です。毎日、患者様の評価を行い翌日に必要なタスクへつなげます。

【量より質が医療の流れ】

「プロセス・アプローチ」という言葉が、患者様ごとの課題は「プロセス・アプローチ」という言葉を使います。食事自立プロセス、トイレ自立プロセスなどです。そのなかに各職種がするべき仕事(タスク)を必要なタイミングで並べてあります。こうすることで職員の片寄りなく効率的に患者様の自立支援ができます。

不安で眠れない患者様の傍で自分の仕事をする看護師



入院や入所に際して、部屋代はいただいません。

リハビリで夢の復興 ～「橋の上の写真家」との二人三脚～

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。



公営住宅に戻り活動を育むイメージづくり



K S B取材クルーと病院玄関に向かう尾合様

退院後は生活機能の悪化が大敵です。せっかくなら屋外へカメラ撮影に出かけてほしいです。なので体

〈退院後の生活〉

そこで失礼ながら当院の隣の水島臨海鉄道水島駅の写真撮影を提案してみました。幸い快く応じられその準備のリハビリも加速しました。まずはご自身の携帯電話で風景を撮り、それを弾みに3年ぶりのプロ用大型カメラを構える体力も回復しました。駅のホームでも息切れせず鉄道をカメラに収められました。

真備水害で被災生活を送っておられるプロカメラマンです。K S B瀬戸内海放送「橋の上の写真家」のご本人です。それが今の病状のためカメラを手に取れないのを残念がっていました。

影へきつかけはカメラ撮

水島協同病院の山本院長から脊椎圧迫骨折の患者様のリハビリを依頼されました。肺のCOPDも合併しており酸素吸入も必要です。背中痛みでベッドから離れません。その方は尾合輝政様。

最終の動きを見極めるため私たちがご自宅に同行します。すると、尾合様が事前に前述のK S B担当者へ退院日を知らせたらしく、当院から自宅へ送り届けるまで取材されました。3年ぶりの大型カメラを用いるまで回復したりハビりに非常に興味を持たれ、私たちもインタビューを受けました。これからも自宅で尾合様らしい生活を送り続けられることを願っています。

〈退院日直前〉

今年度、老健あかね通所リハビリで100歳を超える利用者とは、2名となりました。そのうち松本オエイさんと松田静江さんに長寿のお祝いの記念品を土光施設長より贈呈しました。2人に長寿の秘訣を聞きました。



101歳を迎えられた松本オエイさん(左)、松田静江さん(右)

住み慣れた我が家で100歳を越せたみなさん

於・老健あかね通所リハビリ

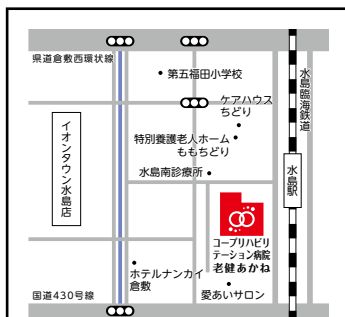
松本オエイさんは、「何も気にせずに、楽しく笑って過ごすこと」、松田静江さんは、「家族仲良く過ごし、家族へ感謝をすること」と、言われていました。

2人とも、毎日、笑顔で過すことが大切と言われており、コロナ禍の状況下の中、とても明るい話題となりました。



コープリハビリテーション病院 栄養科 管理栄養士 向井千賀

新入職員 紹介



○お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-444-3212(代表)
受付時間 平日 9:00～16:30
土曜日 9:00～12:00
(日祝・年末年始を除く)
〒712-8057
倉敷市水島東千鳥町1-60
ホームページ: <http://coopreha.jp/>
メールアドレス: info@coopreha.jp
広報委員会
発行責任者 笹館 勝人

診療表		コープリハビリテーション病院		老健あかね	
外来受付時間 8:30～12:00 [086-444-3212]		訪問リハビリ		通所リハビリ	
診療時間	午前 9:00～12:30	午後 14:30～15:00	9:00～16:50	9:30～11:00	9:00～16:00
月			○	○	○
火	渡辺 (予約制)	山崎 (予約制)	○	○	○
水	飯塚		○	○	○
木	太田	山崎 (予約制)	○	○	○
金	小田		○	○	○
土				○	○

医療福祉相談・連携室	
相談受付時間	平日 9:00～12:00 13:30～16:30
	土曜日 9:00～12:00
	日・祝日 休み